

2024年10月10日

各 位

会 社 名 株式会社エイチーム
代 表 者 名 代表取締役社長 林 高生
(コード番号：3662)
問 合 せ 先 執行役員 社長室長 森下 真由子
(TEL. 052-747-5573)

上場維持基準適合に向けた計画の進捗状況 及び計画内容の一部変更について

当社は、2022年10月27日に、「上場維持基準の適合に向けた計画書」(以下、「計画書」)を提出し、その内容について開示しております。2024年7月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年7月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については引き続き基準を充たしておりません。当項目について、計画期間に変更なく、2025年7月末までに上場維持基準を充たすべく、「3. 今後の課題と取組内容」に記載の取組を進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)
当社の 状況・推移	2023年7月末時点	7,933	114,691	81	57.9
	2024年7月末時点	7,395	116,665	81	58.9
上場維持基準		800	20,000	100	35
計画期間 (適合しない項目について記載)				2025年7月末	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価（2022年10月27日～2024年10月10日）

当社は、2022年10月27日に開示の計画書において、流通時価総額の基準抵触の主たる要因は、業績低迷に伴う株価下落であると公表しておりました。2024年7月末時点では、引き続き流通株式時価総額が上場維持基準に適合していない状況であります。2024年7月8日には株価が一時773円となり年初来高値を更新いたしました。

2024年7月期におきましては、刷新した成長戦略をもとにM&Aを2件実施、アドバンテッジアドバイザーズ株式会社（以下、AA社）との事業提携及び同社の親会社が出資するファンドに対する第三者割当の方法による新株予約権及び転換社債型新株予約権付社債の発行を実施、任意開示の充実化、株主還元の強化を行いました。また、中期経営計画を策定し業績低迷を打開すべく「売上向上支援カンパニー」へと生まれ変わることを掲げ、新たな成長に向けて前進した年であったと評価しております。具体的には、昨年の上場維持基準適合計画に沿って以下の取組を実施してまいりました。

① 業績向上を前提とした株価向上へ向けた取組

a. 刷新した成長戦略の遂行

- 刷新した成長戦略に則り、M&Aを2件発表。中期経営計画の一部に組み込み、売上向上支援カンパニーへの変革に向けた取組として戦略を具体化。
- M&A推進体制に当社スタッフ3名を新たに追加配置するとともに、AA社からも3名が加わり、共同プロジェクトとしてM&Aの加速化及び実行力を高める。

b. 投資事業の成長及び収益性が悪化した事業の回復

- 投資事業（保険、Qiita、OBREMO、lujo）の成長は概ね計画通りに進捗。
- 収益性が悪化した事業の回復については道半ばであることに加え、既存事業の成長は計画当初からの外部環境変化により計画に対し遅れが生じ、目標数値の見直しを実施。

c. 業績向上以外での株価向上施策の実施

- 流通株式比率向上のため、固定株式を流通株式へ転換する施策
 - 保有状況報告書の提出を実施することで、流通株式比率が57.9%から58.9%へ増加。
- 積極的な株主還元
 - 2024年7月期の配当予想を、期初予想16.0円から22.0円（特別配当4.0円、普通配当18.0円）に上方修正。

② コーポレートガバナンスの強化

- #### a. 監査等委員会設置会社への移行を前提に、執行と監督機能を分離することで、執行の意思決定を更に迅速化するとともに監督機能の強化を図る

- 監査等委員会設置会社への移行を実施。
 - 執行と監督機能の分離を推し進めるべく重要会議体を見直して、資源配分方針・戦略投資・撤退基準等を意思決定するホールディングス経営会議と、全社共通 KPI を基に予実進捗及び差額対策について協議する事業執行会議を設け、2024年8月より運用開始。
- b. 経営成績及び財政状況を適切に管理し、企業価値の向上を実現するべく、財務責任者の必要性を認識しており、選任を検討
- 2024年6月に AA 社との事業提携及び同社の親会社が出資するファンドに対する第三者割当の方法による新株予約権及び転換社債型新株予約権付社債の発行を実施。ホールディングス機能を強化するため、同社からの新たな社外取締役候補者の選任を実施。
 - AA 社の支援も受けながら、財務責任者の選任を検討中。
- c. 刷新した成長戦略の推進に伴い加速するインオーガニック投資に対し、適切にリスク管理を行うべく、リスク管理委員会の設置を検討
- 第24回定時株主総会にて公認不正検査士・CFE（Certified Fraud Examiner）資格認定を受ける北川ひろみ氏を監査等委員である社外取締役として選任し、リスク管理を強化。

③ IR 活動の更なる充実

- a. 投資家・株主様から期待される情報発信の強化
- 投資家・株主様からのお問い合わせや面談オファーに応じるだけでなく、当社からも積極的に証券会社、投資家様へご面談をオファーさせていただき、新たな投資家様との対話機会を創出。
 - 面談等で伺った投資家・株主様からのご意見やご要望を経営にフィードバックするとともに、情報発信にも反映。
- b. 新規の投資家・株主様との接点増加を狙った活動の充実
- 個人投資家向け説明会の実施。
 - 2024年3月 ログミーファイナンス主催個人投資家向け説明会
 - 2024年5月 Kabuberry IR セミナー
 - 2024年8月 湘南投資勉強会 IR セミナー
 - 2024年9月 日本証券アナリスト協会主催 個人投資家向け説明会
 計4回の個人投資家向け説明を実施。
- c. 既存の投資家・株主様に向けた情報発信機会の増加
- 任意開示の充実を図るべく、2024年7月期に当社サービスに関する任意開示を7回実施。

- 個人投資家向け説明会の実施。(同上)

3. 今後の課題と取組内容

当社は、2024年9月6日に開示した「エイチーム 中期経営計画 (FY2025 – FY2028)」に記載のとおり、売上向上支援カンパニーへ変革することで業績の向上および企業価値の向上を目指してまいります。プライム市場の上場維持基準を達成することは、中期経営計画を達成するうえでの通過点と捉えております。そのため、2025年7月期におきましては、開示した業績予想の必達を最重要事項として優先的に取り組むとともに、安定的かつ機動的な株主還元に注力してまいります。上述の評価及び中期経営計画を踏まえ、これまでの取組を見直し、今後は具体的に以下の4点に取り組んでまいります。

① 成長性の向上

2028年7月期までにM&Aに100億円以上を投下し、メディア事業のクライアント企業とのタッチポイント及びデジタルマーケティング力を活かして法人向けに集客や業務効率化等の事業支援サービスを提供する“売上向上支援カンパニー”へ変革いたします。2025年7月期においては、変革に向けて必要となる事業や機能を拡充すべく、引き続きM&Aに注力してまいります。

② リスク・ボラティリティの低減

法人向け事業支援サービス領域における売上高構成比の上昇に加え、経営に関する議論及び意思決定を行う会議体の全面刷新により、予実および投資採算性管理を徹底し利益志向を追求いたします。

③ 株主還元の強化

総還元性向については、2025年7月期から2028年7月期において平均100%以上に引き上げる見込みです。また、株主還元合計額は今後4年間(2025年7月期～2028年7月期)で、40～50億円を見込んでおります。

④ ガバナンスの強化

取締役会の実効性強化を高めるべくスキルマトリクスを定義いたしました。投資・資源配分の最適化に向け、戦略投資をホールディングスが意思決定する体制及びホールディングス主体の予実・実績管理を徹底いたします。その実効性を高めるべく、2024年10月29日に開催予定の第25回定時株主総会において、新たに社外取締役としてAA社から金子昌史氏を選任いたしました。また、中内之公氏と間瀬文雄氏が取締役を退任し事業運営に専念することで、執行と監督機能を分離し、執行の意思決定を迅速化するとともに監督機能の更なる強化を行います。

(注) 中期経営計画の詳細につきましては、2024年9月6日に開示いたしました「エイチーム 中期経営計画 (FY2025 – FY2028)」をご参照ください。

以 上